



“ お客様に最も信頼され、
選ばれる資産運用会社となることを目指し、
変化を恐れず挑戦を続けてまいります ”

オルタナティブ投資による新たな価値創造への挑戦

2024年10月、日本有数のアセットオーナーであるかんぽ生命との資本業務提携を開始し、オルタナティブ分野を含む投資顧問ビジネスに本格参入いたしました。そして2025年、三井物産との資本業務提携を通じて、同社のオルタナティブ運用子会社を当社グループに迎え入れ、「大和かんぽオルタナティブインベストメンツ(DKAI)」として新たなスタートを切りました。グローバルな視点と専門性を融合させた新しい価値創造の第一歩であり、この取り組みにより、従来の枠組みにとられない柔軟な運用戦略が可能となります。

わたしは、資産運用とは単なる数字の積み上げでは

なく、社会との対話であり、未来への責任だと考えています。本提携による取り組みは、まさにその理念を体現するものです。オルタナティブ分野への本格参入は、投資家の多様なニーズに応えるだけでなく、社会課題の解決に資する資本の流れを生み出す可能性を秘めています。

一方で、当社は、チーム運用の高度化や人事制度の改定など、様々な施策を着実に推進し、運用力の向上を実現してまいりました。引き続き運用力のさらなる高度化に取り組み、社会の持続可能性と自社の企業価値向上の実現に努めてまいります。

挑戦と実践が導く、資産運用立国の未来

サステナビリティの追求は、理論だけでは実現できません。現場での実践、対話、そして失敗からの学びを通じてこそ、真の価値が生まれます。わたしは、現場の声に真摯に耳を傾け、柔軟に対応する姿勢こそが、持続可能な経営の礎であると確信しています。

AI技術の活用推進もその一環です。2025年7月には、広告審査業務の高度化・効率化を目的にLegalOn Technologies社とAIシステムを共同開発し、10月より「月次レポート」審査業務への導入を開始しました。これにより、業務効率の向上に加え、法令遵守とナレッジ蓄積の両立を図る体制を構築し、投資家の皆様への確かつ有益な情報をより迅速に提供することが可能となりました。

こうした取り組みは、資産運用業界の業務基盤の強化につながり、運用会社に高度な専門性と透明性が求められる「資産運用立国」の実現にも資するものと考えています。

今後も、「資産運用業を通じて、人々の豊かな暮らしと持続可能な社会の実現に貢献する」という原点に立ち返りながら、変化を恐れず挑戦を続けてまいります。そして、インベストメントチェーン全体を意識したスチュワードシップ活動の推進、プロダクト・ガバナンスの徹底、金融経済教育を通じた金融リテラシーの向上に取り組み、「資産運用立国」の実現に向けた役割を積極的に果たしてまいります。



All Challenges for ESG Investment

代表取締役社長

佐野 経